

# 結婚詐欺に遭った場合まず何をすべき？注意すべきポイントを解説

結婚詐欺は自分には関係のない話だと考える人が多いですが、被害に遭った人も自分が被害に遭うとは思わなかったという人がほとんどです。近年結婚詐欺の手口は巧妙になっていて、結婚詐欺だと気が付いていないだけで本当は騙されているのかもしれませんが。もし自分が結婚詐欺にあった場合、どのように対処すべきでしょうか？

この記事では、結婚詐欺被害の対処法や二度と繰り返さないために気を付けるべきことをご紹介します。

## 結婚詐欺に当たる行為とは？

結婚詐欺とは、次の行為が2つともおこなわれたとき認められます。

- 結婚する意思がなく被害者を騙すつもりで近づく行為
- 金銭や財産を嘘をついて騙し取る行為

それぞれ下記に詳しく説明します。

### 結婚する意思がなく被害者を騙すつもりで近づく行為

被害者を騙す行為とは、結婚する意思がないにもかかわらず、相手に嘘をつき結婚すると思わせる行為のことです。

詐欺師に見られる特徴は男女問わず身分や年収などがハイスペックであることです。

例えば男性詐欺師なら一流大学を卒業して医者や弁護士などの職業を名乗ります。女性詐欺師の場合、お嬢様がいくような大学を出てアパレルや美容関係の会社を経営しているなどが挙げられます。

結婚する相手として好条件に偽ることで、結婚や出会いを求めている異性から魅力的に感じさせ、さらに金銭を騙し取る際に返済する能力や財産があると思わせるのです。

### 金銭や財産を嘘をついて騙し取る行為

金銭や財産を騙し取る行為には理由をつけてお金を要求する、また高額な商品の購入、財産の名義を変更させることなどが挙げられます。

多くの場合、交際して早い段階、もしくは交際直前に「結婚したいけど株で失敗して借金がある」「身内が事故にあい、医療費が必要だ」などと嘘をつくケースです。

そして「お金はあるが今たまたま用意できないから立て替えて欲しい。すぐに返すから」といった言葉で、金銭の要求をします。

交際直前や直後は恋愛感情が芽生えていることもあり、被害者は「返済の意思を示しているし嫌われたくない」「すぐに返してくれるなら立て替えてもいいか」と思ってしまい騙されてしまうのです。

## 結婚詐欺師がお金を要求するときに使う口実とは

結婚詐欺師がターゲットからお金を要求するときに使う理由をご紹介します。もし自分の恋人に下記のようなことを告白された場合は、慎重に状況を把握するようにしましょう。

- 家族の入院や治療費用
- 会社を始めるための（運営）資金
- 2人の結婚式の費用
- 同棲する新居の費用

それぞれ詳しく紹介します。

### 家族の入院や治療費用

お付き合いし始めてから「実は親や兄弟が病気なんだ」と打ち明けてくるパターンも多く、古くから使われている手口の一つです。

交際相手から「治療にはお金が必要」と言われてもすぐに渡すのではなく、落ち着いて相手の詳しい話を聞くようにし、言っていることが本当かどうかを見極めるようにしましょう。

### 会社を始めるための（運営）資金

結婚詐欺師がお金を無心する口実として、これから事業を始めるためのお金を借りる、会社運営資金の補助を頼んでくるケースもあります。

「事業がうまくいく見込みは立っているけれど、今すぐお金が必要」などという口車にのってお金を渡してしまうようなことはやめましょう。

### 2人の結婚式の費用

結婚詐欺師の中には2人で式場の見学をしたうえで騙してくる人もいます。式場を見学したうえで話を持ちかけるため、信じてしまいがちですがあまりに早い振り込みの場合は疑った方が良いでしょう。

「結婚式の費用を式場に振り込む」と言われてつい渡してしまいそうになりますが、結婚式の費用は予約金を除き、式の直前か当日で振り込むことが一般的ですので騙されないようにしてください。

## 一緒に暮らす新居の費用

交際を続けていく中で結婚話になり、「2人の将来のためにマンションを購入しよう」と騙してくることもあります。

マンションを購入後に連絡が取れなくなり、ローンを抱えてしまうことにもなりかねないので信用できる相手なのかどうかをしっかりと見極めましょう。

## 結婚詐欺に遭った際取るべき対処法

結婚詐欺にあったことに気づいたとき、相手と連絡が取れるか否かが重要になってきます。

もし連絡が取れる場合は騙された金銭を返金請求できる可能性があります。連絡が取れなくなってしまうと返金請求は困難になってしまうため早めの対処が必要です。

相手と連絡が取れる場合と取れない場合について、それぞれの対処法を紹介します。

### 相手と連絡が可能な場合

まず、相手方の身元に関する情報を集めます。例えば電話や住所、職場などできる限りのものを集めましょう。次に渡した金銭の総額と理由を整理します。

どのような説明を受けて金銭を渡したのかを整理して、金銭をあげたのではなく貸したという点について、証拠を集めることが重要です。会話を録音したもののほか、LINEやメールでのやりとりなどのような証拠があれば、返還請求をおこなう際に有利になるでしょう。

### 相手と連絡が取れない場合

すでに連絡がとれない場合、相手を探し出すことは簡単ではありません。被害者が結婚詐欺に遭ったと気づいた段階で相手の身元を調べようとしても、結婚詐欺師が被害者に伝えていた情報はほとんどが嘘で、正しい情報にたどり着くことは困難なケースが多いからです。

相手が音信不通になる前に少しでもおかしいと感じたら、専門家への相談や調査会社身辺調査の依頼をするなどしておくことで被害を最小限に留めることができるでしょう。

## 結婚詐欺にあったことを繰り返さないために

結婚詐欺にあったとしても、次に同じ過ちを繰り返さないことが必要です。中でも次の3つには十分注意して、結婚詐欺に遭わないように気をつけましょう。

- 会ったばかりの相手を簡単に信用しない
- 金銭のやりとりを避ける
- 名刺や第三者の存在も偽造の可能性がある

それぞれ詳しく紹介していきます。

### 相手を簡単に信用しすぎない

出会ったばかりの人を信用するのはやめましょう。すぐに金銭の話をする、知り合ったばかりで結婚の話をするといった結婚詐欺師の特徴をしっかり把握してください。自分を守るためにも疑い深くあることが重要です。

### お金の貸し借りまたはやり取りをしない

簡単にお金を貸すことはしてはいけません。結婚詐欺師はお金を持っていることを装い、貸し借りをした最初のうちはお金を返してくることもあります。しかし信用して金銭のやり取りを続けてしまうと、結婚詐欺の手口に騙されてしまう場合があります。

### 名刺や第三者の存在も嘘の可能性はある

詐欺師が名刺や第三者の存在を偽装しているかもしれないことを覚えておきましょう。名刺を渡されたり、親族や友人などの第三者を紹介されたりすると、つい信用してしまうかもしれません。

しかし詐欺師はお金を得るためには人を騙すことも厭わないので、名刺や第三者の存在を偽装することも簡単におこないます。第三者を紹介されただけでは信用に値しないということを覚えておきましょう。

### 詐欺被害にあったら調査会社への依頼が有効

結婚詐欺はお金をとられるだけでなく、好きな人に裏切られるという精神的なダメージも与えます。「まさか自分が」とは思わず、おかしいと思ったらすぐに行動することが被害の拡大を防ぎます。

被害者の多くは、弁護士や司法書士に依頼するときに詐欺師の偽の情報しか伝えられず解決までの多くの時間と費用がかかってしまいがちです。依頼しても結果が出なかったり、依頼を断られてしまったりすることもあります。

刑事責任や民事責任どちらを問うにしても、最も大切になるのは証拠の有無です。相手の身元や情報を収集して詐欺の被害を立証するには、調査のプロである調査会社に依頼するのが近道といえます。中でも結婚詐欺の調査に強い「東京中央信用調査」に相談することをおすすめします。